令和８年９月２５日提出

令和８年９月市議会定例会発議案

（発議案第６号）

木　更　津　市　議　会

令和８年９月市議会定例会発議案目録

発議案番号	件　　名	頁
発 議 案 第 ６ 号	基地対策関係施策に関する要望書について	１

発議案第６号

基地対策関係施策に関する要望書について

上記議案を別紙のとおり木更津市議会会議規則第１４条第１項の規定により提出します。

令和８年９月２５日

提出者	木更津市議会議員	斉　藤　　高　根
賛成者	同	竹　内　　伸　江
賛成者	同	重　信　　文　彦
賛成者	同	安　藤　　順　子
賛成者	同	齊　藤　　秀　樹
賛成者	同	石　井　　徳　亮
賛成者	同	永　原　　利　浩
賛成者	同	田　中　　紀　子

木更津市議会議長　　草　刈　　慎　祐　様

提案理由

基地周辺住民や市民の生活環境の維持向上に向け、諸課題の改善、解決等を要望するため、別紙要望書を、地方自治法第９９条の規定により、関係機関へ提出しようとするものである。

基地対策関係施策に関する要望書

木更津市はかつて、東京湾に面した広大な干潟を有する地域でありましたが、一部を埋め立て、昭和９年に木更津港の北側に木更津海軍航空隊の飛行場が建設され、昭和１１年から航空基地として運用が開始されました。

現在は、陸海空の自衛隊が所在しており、平成２９年２月から、日米オスプレイの共通整備基盤として、木更津駐屯地において、普天間飛行場所属の米海兵隊オスプレイの定期機体整備が始まり、これまで１１機の整備が完了し、現在１機が同駐屯地内の格納庫で整備を行っており、整備用格納庫の新設に伴い、今後、整備機数の増加が見込まれます。

また、令和２年７月１０日から、陸上自衛隊オスプレイが木更津駐屯地へ暫定配備され、令和７年７月９日に佐賀駐屯地が開設されたことに伴い、陸上自衛隊オスプレイの運用部隊である輸送航空隊が同駐屯地へ移駐し、木更津駐屯地における約５年間の暫定配備が終了しました。

一方木更津駐屯地内においては、米海兵隊オスプレイに加え、陸上自衛隊オスプレイの定期機体整備を行う方針が示されていることから、木更津駐屯地の基地機能の変化に伴う市民の安全・安心や生活環境への影響について引き続き懸念しているところであります。

市議会としては国防を担う自衛隊と本市民が良好な関係を維持し、地域との共生を図るため特定防衛施設周辺整備調整交付金や基地交付金（国有提供施設等所在市町村助成交付金）等を活用し、本市民の生活環境、とりわけ基地周辺住民の生活環境及び本市の福祉等の維持向上に努めています。

このような状況にあることを十分にご賢察いただき、本市議会としては、市民の安全と安心を第一に考え、防衛省に対し、議会及び市民への随時適切な情報提供と丁寧な説明を求めます。また、オスプレイに関する覚書を遵守し、次の事項の実現について強く要望します。

１．議会に対して、情報提供を直接、適切かつ速やかに行うこと

市民からの負託を受けている議会に対し、適正かつ速やかに情報提供されることで基地がある故に既に生じている諸課題がより明確化されるものと考え、以下の４点を要望します。

・議会に対して、より丁寧な説明と速やかな情報提供を行うこと。
・本市を含む、複数の基地にかかわる情報提供を行う際には、他自治体と差異のないよう、速やかに本市にも情報提供を行うこと。
・本市に所在する陸海空の自衛隊に対しては、今まで以上の安全対策を徹底し、市民の安全安心確保のための説明と対策を行うこと。
・基地運用や施設整備など、地域住民の生活環境に影響を及ぼす事項については、安全保障上支障のない範囲において、計画の進捗状況や変更内容を速やかに情報提供するとともに、本市と十分な協議を行うこと。

２．オスプレイに関する覚書等の遵守及び、全ての航空機の運用に際し安全対策を徹底すること

日米オスプレイは、今後も定期機体整備のために木更津駐屯地に飛来することから、オスプレイをはじめ全ての航空機の運用に際し安全対策の徹底について、以下の３点を要望します。

・米海兵隊オスプレイの定期機体整備については、防衛省、米軍及び整備企業との間で取り交わされた覚書を遵守すること。
・陸上自衛隊オスプレイの定期機体整備について、計画が出来次第情報提供を行うとともに、整備の実施にあたっては米海兵隊オスプレイと同様の措置を講じること。
・日米オスプレイをはじめ木更津駐屯地における全ての航空機の運用に際し、飛行計画の策定から運用管理に至るまで、安全性を最優先とした対策を徹底すること。

３．基地周辺対策経費を確保すること

防衛省所管の交付金や補助金は、市民の基地に対する理解と協力を得るために重要な財源であり、本市の生活環境整備や住民福祉の向上等に活用しています。しかし、依然として厳しい財政状況が続いています。また、新たな格納庫整備に伴う整備機数の増加が見込まれるため、以下の４点を要望します。

・木更津駐屯地における日米オスプレイの定期機体整備について、整備用の格納庫の新設に伴い、今後、整備機数の増加が見込まれることから、特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額を図ること。
・木更津飛行場周辺まちづくりに対する助成予算を確保すること。
・木更津駐屯地に配備されている航空機の騒音対策をはじめとする基地周辺地域の生活環境整備等に必要な事業の助成及び予算を確保すること。
・木更津駐屯地における日米オスプレイの定期機体整備用格納庫を新設していることから、総務省に対し基地交付金（国有提供施設等所在市町村助成交付金）の増額を働きかけること。

４．基地周辺地域における生活環境の維持向上及び産業振興・地域交流への寄与に努めること

本市は基地周辺地域として、長年にわたり基地との共存・共生を図りながら地域の発展に努めてきましたが､基地の存在に起因する各種問題は市民生活に少なからず影響を及ぼしております。引き続き周辺住民の生活環境の維持・向上を図ることが重要であります。産業振興・地域交流など幅広い分野において地域に積極的に貢献することは、住民生活の向上と地域経済の活性化に不可欠でありますので、以下の５点を要望します。

・飛行場周辺地域における騒音環境基準（現行６２dB）を航空機騒音の環境基準（現行５７dB）まで引き下げ、住宅防音工事の補助対象区域を拡大し、対象世帯等の見直しを行うこと。
・騒音被害の実態把握を行うとともに、オスプレイによる低周波に関する調査研究を実施し、必要な対策を講ずること。
・緑地帯や緩衝地帯など、引き続き地域の生活環境を悪化させないよう適切な管理を維持すること。
・木更津産の糧食・物品の地元調達を促進するとともに、防衛施設関係工事及び維持修繕等の地元企業の受注機会の確保や、市民の雇用を積極的に行うよう指導すること。
・各種イベントを通じた市民との交流促進をはじめ、住民生活向上と地域交流に資する取組を推進すること。

５．大規模災害時の連携強化に努めること

近年の自然災害の頻発・激甚化を踏まえ、首都直下地震や南海トラフ地震への備えが急務となっています。第一ヘリコプター団を有する木更津駐屯地が、広域防災拠点としての役割を果たすとともに、住民の安全・安心なまちづくりに向けて、以下の４点を要望します。

・木更津駐屯地は地元自治体との災害時の協力体制をより一層深化させ、発災時における住民の安全確保に寄与すること。
・災害時における航空機・人員・資機材の運用については、平時から本市と連携・情報共有を図ること。
・避難所支援・物資輸送・孤立地区への支援など、地域防災力の向上に資する取組をさらに推進すること。
・大規模災害を想定した本市との合同防災訓練及び図上訓練等を実施し、実効性のある協力体制を構築すること。

令和８年　　月　　日

防衛大臣　　様
防衛装備庁長官　　様
地方協力局長　　様
北関東防衛局長　　様

木 更 津 市 議 会 議 長
基地政策特別委員会委員長